

○事業所名	放課後デイサービスひだまりa		
○保護者評価実施期間	令和8年1月6日		～ 令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和8年1月6日		～ 令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が安心して通うことができる。それぞれの楽しみ方で過ごすことができる。 保護者の方々が安心して通わせることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ひだまりと一緒に活動を行うことで、子ども達の声やおもちゃの音などにぎやかな環境で過ごしている。職員が間に入り、積極的に関わる機会を持つようにしている。 障がい種別、医療的ケアの有無に関係なく、どんな子でも受け入れることができるよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心安全に過ごすことができるよう、環境を整備する。 職員の資質向上のため、研修会等を実施する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに合わせた支援 	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動へ参加する意義は踏まえつつ、一人ひとりの意思を尊重すること、健康状態を観察し過ごし方を選択することを大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 月末のミーティングや毎日の打合せにて、子ども達の様子、気付いたこと、また保護者からの情報を共有し、連携かつ継続した支援を行えるよう努める。
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者支援 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方々が、お迎えに来ることに少しでも意義を感じられるよう、いつでも何でも相談しやすい雰囲気づくりを意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの様々な相談に応えられるよう、職員の経験の積み重ねをサポートし、研修会や勉強会等を実施する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 活動室の使いづらさがあり、スペースが狭いと感ずることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸要因があるが、活動室内にバギー等を置いているためスペースが取られてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> バギーを活動室の外に置くよう変更したが、定着していない。移動式リフトも導入したため、さらなるスペースの確保に取り組む必要がある。
2	<ul style="list-style-type: none"> 児童館等の交流や、地域の他の子どもと活動する機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の状況や訪問先の環境等から、外出するのは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 中原中学校オーケストラ部とは定期的に交流の機会を持つことができた。今後も継続していきたいよう努める。
3	<ul style="list-style-type: none"> 支援開始前、終了後に職員間で打合せをする時間を、毎日必ず設けることができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 出退勤時間が同じではないので、個別に伝えている。個人ファイルに記載することで情報を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が全員降所した時点で、一度時間を取って振り返りを実施する。 申し送りノートを新たに取り入れる。